

資料 1・2 に関する修正内容

4 月 18 日(月)開催の第 1 回協議会の内容を踏まえ、資料 1. アンケート調査票、資料 2. ヒアリング団体先について、以下のとおり修正しています。

○ 資料 1. アンケート調査票の修正内容

修正箇所		修正内容
ページ	問 (括弧内の数字は、 前回調査票の設問 番号)	
表紙	変更なし	<ul style="list-style-type: none"> ・分析方法:単純集計のみを前提としているのか。 →年齢、地区でのクロス集計までを考えている。 ・重みづけ(ウェイトバック集計)について →ウェイトバック集計までは考えていない。
2	3	選択肢「8.家事専業」→「8.家事専業(主婦・主夫)」と修正 【審議委員の質疑による】
4	11(12) 変更なし	<ul style="list-style-type: none"> ・リッカート法での設問について →紙幅の都合上、現状の形で進めたい。 ・「できる」と「したい」の違い →「できる」と聞くことで、「希望・欲求」ではなく回答者の手助けへの態度・「参加可能性」をより明確にするため。
6	15(16)	設問文の修正 「・・・地域活動や地域の行事へ・・・」 ↓ 「自治会活動等の地域活動(【問 15-1】の項目に該当する活動)や地域の行事へ・・・」 【審議委員の質疑による】
7	16(17)	設問文の修正 「あなたは、ボランティア活動やNPO活動に参加したり・・・」 ↓ 「あなたは、まちづくり、スポーツ等のNPO活動、一人暮らしのお年寄りの見守りや子育て支援等のボランティア活動(【問 16-1】の項目に該当する活動)に参加したり・・・」 【審議委員の質疑による】

8	18(19)	回答のあり方を複数選択から、各項目について4段階評価で回答するように修正 【審議委員の質疑による】
10	21(22)	選択肢「6. わからない」を削除 【坂本委員の指摘による】
11	23(24)	回答方法を強調するため太字・網掛け 【審議委員の質疑による】
11	24(25)	枝間を追加。 【審議委員の質疑による】
14	31(32)	「再犯防止の取組」の説明文。 「犯罪や非行をした人が円滑に社会に復帰し、再び罪を犯さないようにして安全・安心な社会をつくるため」 ↓ 「犯罪や非行をした人が、人々の理解と協力を得ながら再び社会を構成する一員として受け入れられることが可能な社会を目指し」 と修正
15	33(34)	選択肢を全体的に修正【審議委員の質疑による】

※ その他、細かな文言の修正、適宜設問への導線の追加等を行っています。

○ 資料 2. ヒアリング団体先の修正内容

飯塚市障がい者生活支援センター	飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者基幹相談支援センターに名称変更
小規模多機能連絡協議会	現在、協議体が存在しないため削除
かいた子育てサポートジャム	第1回協議会での委員意見による追加
NPO 法人つどいの広場いづか	現在、ファミリーサポート等の活動を行っていないとの委員意見により削除
中央福岡ヤクルト販売(株)東筑支社	現在、高齢者等の見守り活動について、35団体の公民連携先が存在することから削除
グリーンコープ生協ふくおか 筑豊支部委員会	
フレイル予防サポート	第1回協議会時に委員より追加の意見あり、事業について健康保険課に確認したところ、「団体・協議体ではなく、代表を置かずサポーターが多く所属する組織である。事業としては健幸保健課が所管であるため、行政の事業として計画にあげる予定。」との回答。
NPO 法人人権ネットいづか	第1回協議会での事務局提案、委員同意により追加